

さくら苑だより



Sakura-In Nursing Home Journal

[平成28年夏季号]

編集・発行
 社会福祉法人 佐倉厚生会
 特別養護老人ホームさくら苑
 (〒285-0025) 佐倉市錦木町346番地
 TEL 043-486-5050
 FAX 043-486-1610
 (介護相談専用) 043-486-3960
 発行責任者 相沢 毅
 第38号

介護予防事業 新たな連携の仕組づくりへ

相沢 毅

私どもの法人では、約二年前の十月より市民ボランティアの力をお借りし、月二回介護予防事業の一環として、「ふまねつと」を実施してまいりました。準備段階では五人〜六人参加していただければ十分と考えていましたが、当初の予想を大幅に上回る二十人前後の参加者となり、予想と実際の違いに大いに驚かされました。このことからわかったことは、私ども施設関係者が考える以上に、市民にとって介護予防への関心が高まっていたこと。加えて、長く参加していただき事業が今日まで継続できたのは、実施していただいているボランティアの方々の事業への熱い思いに依るところが大変大きいということ。こうしたことをとおし、あらためて、ボランティアの方々には心から感謝申し上げるしだいです。

その後、参加者の要望に応えるため、月三回へと一日実施日を増やすこととなり、現在は第二・第四金曜日の午後十二時、第三木曜日の午後一時三十分〜三十分の計三回実施しています。このように市民やボランティアの方々と共に実施することは、私ども施設職員にとっても大きな刺激となり、貴重な経験にもつながっていると実感しています。

そんな折、今年五月にあ



元気いっぱい介護予防体操活動写真

今後とも、地域活動の担い手として、市民の皆様の「心の声」を聞かせていただきながら、未来につなげていきたいと願っております。



市民の手による手作り喫茶

この第一回目のわくわく体操が、平成二十八年七月二十五日の月曜日に、私ども法人の地域活動拠点である「ルピナスかぶら木」で行われました。初回から四回までは市の担当者が指導を兼ねて実施をし、その後は市民グループの方々に引き継がれ、市民グループが主体的に実施していくことになりました。

こうした新たな仕組みを活かし地域事業を展開していくことが、これからの高齢化社会にとって大切なことだと感じています。私ども法人にとりましても、さらに一層地域とのつながりを大切に、市民とともに活動できるよう、開かれた施設として精一杯支援に努めていきたいと考えております。

る市民グループから活動拠点として使いたいのので、施設を貸してほしいとの申し出がありました。これを機に話し合いが行われ、新たな介護予防事業を展開することができました。これこそ、また一歩進めた市民協働の仕組みだと考えています。その仕組みとは？・・・、まず行政が推奨する「わくわく体操」を、市民グループが主体的に実施する。そのうえで、地区社協からも参加案内を配布するなどの広報活動の協力を得ていながら、さらに活動の側面的支援と調整を社会福祉法人が行うという。これこそ地域一体となった新たな連携の仕組みだと考えております。

さくら苑ホームヘルプ

さくら苑ホームヘルプサービスは、佐倉市、酒々井市を中心に印西市、四街道市、八街市を営業エリアとして活動しています。食事の用意、入浴の介助、部屋の掃除など住み慣れたご自宅で不自由なく生活ができるように心を込めて支援しています。お気軽にお問合せください。



ペブルヘルパーステーション

ペブルヘルパーステーションは開設してから今年で丸4年が経ちました。ご利用者様が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、一人一人のニーズに合わせた幅広いサービスを提供できるよう心掛けて支援してきました。

翌年には居宅介護支援センターを開設し、昨年より介護支援専門員2名となり更にご利用者様からご依頼を頂いています。当事業所は地域に根付いていくことを目標に、これからも丁寧なサービス提供を行ってまいりますのでお困りの事がございましたらお気軽にご相談ください。

ソーラーパネル

さくら苑の屋上に、太陽光発電パネルを取り付けました。夏真っ盛りの8月3日に、発電した電気を東電に買ってもらう【売電】が開始となりました。太陽光による発電能力を持つ事により、将来的には蓄電設備を整えて、災害時の施設の電力の供給ができるようになるのです。



決算書

貸借対照表の要旨
 平成28年 3月31日現在
 (単位：千円)

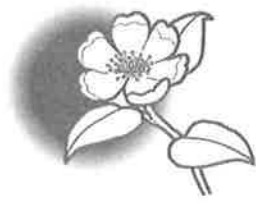
科目	金額
資産の部	
流動資産	187,676
固定資産	585,140
(基本財産)	405,717
(その他の固定資産)	179,423
資産の部合計	772,817
負債の部	
流動負債	33,715
固定負債	33,847
負債の部合計	67,563
純資産の部	
基本金	353,813
国庫補助金等特別積立金	65,323
その他の積立金	115,000
次期繰越活動増減差額	171,116
純資産の部合計	705,254
負債及び純資産の部合計	772,817

事業活動計算書の要旨
 (自)平成27年 4月 1日 (至)平成27年 3月31日
 (単位：千円)

科目	金額
サービス活動収益	458,511
サービス活動費用	475,522
サービス活動増減差額	△ 17,011
サービス活動外収益	3,404
サービス活動外費用	2,477
サービス活動外増減差額	927
経常増減差額	△ 16,083
特別収益	3,874
特別費用	2,889
特別増減差額	985
当期活動増減差額	△ 15,097
前期繰越活動増減差額	186,214
当期末繰越活動増減差額	171,116
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動増減差額	171,116

資金収支計算書の要旨
 (自)平成27年 4月 1日 (至)平成27年 3月31日
 (単位：千円)

科目	金額
事業活動収入	461,595
事業活動支出	453,560
事業活動資金収支差額	8,034
施設整備等収入	14,550
施設整備等支出	5,558
施設整備等資金収支差額	8,991
その他の活動収入	3,676
その他の活動支出	5,717
その他の活動資金収支差額	-2,041
当期資金収支差額合計	14,984
前期末支払資金残高	163,163
当期末支払資金残高	178,147



納涼祭

さくら苑 夏の行事

盆供養

さくら苑では毎年恒例の納涼祭を開催しました。真夏日が続く中、近所のボランティアに協力していただき7/27に当日をむかえました。



♪どれにしようかな♪

今回はヨーヨー釣りや綿あめ、かき氷の屋台を用意し、賑やかな催物となりました。昼食もおまつりに合わせて焼きそばやチキンナゲットを召し上がり、笑顔あふれる1日を過ごす事が出来ました。

今年もお盆の法要が8月3日に延覚寺の御住職をお迎えしとりおこなわれました。亡き方々を偲び両手を合わせる時、深い安らぎを覚えます。



さくら苑デイホーム



歩いて姿勢も視界もスッキリ



口腔体操で咽なく美味しく元気よく!

さくら苑デイホームは、1日10人定員のデイサービスです。認知症の方でも、家庭的な雰囲気の中で穏やかな時間を提供しています。

お隣には喫茶ルームも完備しており、デイルームとは違った癒しの空間の中でお茶やおやつなどの喫茶タイムや外気浴などで外に出られた時の「気軽に寄れる憩いの場」として活用しています。

7月から、少しでも歩ける方や歩く意欲がある方を中心に『ポールウォーキング』の取り組みを開始いたしました。2本のポール（スティック）を両手に持ち、左右交互にポールを突いて歩行訓練ができるものです。参加して頂いている皆様には、有り難い事に、「膝が痛くなく歩行が楽」「背筋良く歩ける」「疲れがあまり感じない」と大変好評を頂いております。

利用者一人一人が「楽しく残存機能が活かせる場」の2つの柱を主軸に、自宅に戻られてからも明るい表情が保って頂ける様に、取り組んで参りたいと思っております。

はちこくの里

皆様のご愛顧のお蔭で11年目を迎える事が出来ました事を心より感謝致しております。はちこくの里です。

今年は3月には7段飾りの雛人形を、願いを記した短冊や多くの思い出と共に作成した七夕飾りを愛で、季節の節気を感じました。菜園スペースでは、ミニトマトの収穫、花や木の成長観察など涼やかな風と日本の原風景の様な長閑な環境の中、皆で散策やデッキスペースでの談話、お茶会を楽しんでおります。

今後多種多様なニーズが求められる中で認知症を発症した方もそうでない方、様々な心身状態の方が同じ空間で共に穏やかに賑やかな時間を共有したり、時には一人でゆったりと過ごせたりと、お好きな過ごし方を選んで頂き一人一人が安心して「自分らしくいられる」「今の自分に陽のあたる場所」として、はちこくの里が存在し必要な場所になる様、また、過ごして頂いた時間の中にご自宅での生活も生き生きとした日々になって頂ける切っ掛けを持ち帰って頂ける様、恵まれた環境を最大限に生かしたレクリエーション・機能訓練を兼ねた外気浴や散歩等々提供して参りたいと思っております。



お茶会?女子会?どっちも楽しんでいます



七夕の願いを込めて...愛を込めて

地域の皆様との連携を大切に

地域を支える「配食サービス」の紹介

さくら苑では地域支援のための中心的事業として配食サービスを実施しています。この事業は佐倉市より委託されている事業で、佐倉市内にお住いの65歳以上の独り暮らしまたは高齢者のみの世帯の方で何らかの理由で調理が困難な方がご利用いただけるサービスです。必要に応じて月曜日から金曜日の夕食を配達しており、さくら苑では佐倉地区、白井地区を担当しています。献立は管理栄養士が栄養を考え調理し、お粥や刻み食などの食事形態に対応しています。配達の際は、介護に精通した職員も同行しておりご利用者にお声をかけ、安否確認を行うだけでなく、その方の状態を把握し佐倉市に連絡を取れる体制を整えております。ご利用者からの元気な笑顔と『おいしかったよ!』の声を励みにこれからも職員一同頑張っております。



色も味もバランスよく!

介護予防体操

平成26年10月 参加者10名から始まった介護予防体操教室ですが、平成28年7月末時点で59回開催し、のべ890名の方が参加されています。

月3回、笑いの絶えない和やかな雰囲気の中、しっかりと2時間合唱や体操・ふまねっと運動を行っています。

運動後は軽い疲れもありますが、「歩く時にふらつくことが少なくなった」「体力がついた」との言葉も聞かれ運動効果を実感したことにより、佐倉市高齢者福祉課 理学療法士である岩本 絵己様にご指導いただき、今年5月19日(木)・27日(金)4種の運動測定を行い、測定結果について説明をしていただきました。初めての試みで、参加者・スタッフも戸惑うこともありましたが、有意義な時間となりました。今後は体力測定は11月に行う予定にしておりますので、興味のある方は是非さくら苑にご連絡下さい。



右足、左足...次はどっち?

オープンサロンやまびこ介護教室

7月13日(水) 13:30~15:00まで「オープンサロン やまびこ」にて介護教室を行いました。

今季節ニュースなどでも耳にすることが多くなる、脱水症と熱中症について、今回は株式会社明治の管理栄養士 夏目様、平川様をお迎えして、高齢者に注意が必要な「脱水症と熱中症の予防と対策について」というテーマで講義をお願いしました。

「喉が渇かないから」「夜中にトイレに行くことが面倒だから」と水分を取らなかつたり、「エアコンは身体が冷えるから嫌」と部屋の中が暑くなつたりしていませんか。高齢者は体温調節が上手くできず体温が上がり、それに水分補給が上手くできないこと(脱水症)が熱中症の原因となります。脱水症の症状として「口の中が渇いている」「食欲がない」「だるい、ボーっとする」「皮膚が乾燥し弾力がない」等です。熱中症の症状としては「手足がしびれる」「頭痛や嘔気」重症になると「痙攣を起こす」「真っ直ぐ歩けない」「意識がない」と命に関わる危険な状態になってしまうことも…。

脱水症の対策として、健康な人であればアルコール以外の飲み物なら良い。食事以外で1.2ℓ程度。大量の発汗、発熱で水分不足の時は経口補水液を飲む。脱水症、熱中症にならないために、①体調を整える。②涼しい服装をする③こまめに水分補給④エアコンや扇風機を上手に使用する。ということでした。実際に補水液を試飲されたり、分かりやすく説明して頂いたので「大変勉強になりました」「具体的に教えてくださりよかったです」との感想を頂きました。

次回は11月に予定しております。ぜひまた皆様にご参加頂ける様スタッフ一同お待ちしております。